

日本ベーリンガーインゲルハイム、 「BIファーマシストアワード2017」グランプリを 発表 募集テーマ：「社会のニーズに対応した薬剤師 業務の実践」

報道関係者向け情報

このホームページでは、国内の報道関係者の方々を対象に、ベーリンガーインゲルハイム ジャパングループ各社の情報ならびに関連情報をご提供しています。一般の方に対する情報提供を目的としたものではありませんのでご了承ください。

2017年3月6日 日本/東京

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：青野吉晃）は3月5日、「BIファーマシストアワード2017」の最終選考会を東京国際フォーラムで実施するとともに、グランプリ、準グランプリなど各賞の発表および表彰式を執り行いました。

「BIファーマシストアワード」は、日々の薬剤師業務を通じて医薬品の適正使用や薬物治療に貢献する優れた取り組みを表彰するため、日本ベーリンガーインゲルハイムが2010年4月に創設した賞です。第7回目となる今回は「社会のニーズに対応した薬剤師業務の実践」をテーマに論文の募集を募りました。全国の薬剤師から寄せられた39組の応募の中から一次審査を通過した10組の発表が最終選考会で行われました。最終審査の結果、グランプリには「療養病床と老健施設の医師回診に薬剤師が同行したことで起こったイノベーション～ 薬剤適正使用を追い求めた10年間～」（医療法人渡辺会 大洗海岸病院 薬剤部 新井 克明 [あらい かつあき]先生）が選ばれました。

準グランプリには「薬のリスクから患者を守るための高機能携帯用通信機器を用いた『副作用モニタリングシステム』開発」（鹿児島県始良地区薬剤師会 福森 淳 [ふくもり まこと]先生）と、「周産期の医薬品・サプリメント使用に関する支援のための取り組み」（東北大学病院薬剤部 小原 拓[おぼら たく]先生）が選定されました。



写真左 【鹿児島県】 鹿児島県始良地区薬剤師会 福森 淳先生
写真中央 【茨城県】 医療法人渡辺会 大洗海岸病院 薬剤部 新井 克明先生
写真右 【宮城県】 東北大学病院薬剤部 小原 拓先生

日本薬剤師会会長 山本 信夫氏は、「BIファーマシストワードの立ち上げから携わってきて、7回目を迎えた今回、とりわけ社会的なニーズに応じた素晴らしい研究が多かったように思います。これまで発表されてきた数多くの研究は、まさに次世代への財産だと思います。これからも皆様が地域の中で活躍されることを期待しております」とコメントしました。

また、日本病院薬剤師会会長 木平 健治氏は、「社会のニーズとして地域の特徴に合わせた安心・安全な薬物治療と共に、効果的・効率的な薬物治療を通じた医療資源への配慮が求められており、薬剤師主体の評価システム作りが重要です。発表者の方々には今回のアワード受賞を励みに、医療に不可欠な存在として薬剤師の活躍を一層アピールしていただきたいです。」と述べています。